

仕 訳 例

番号	摘 要	借 方				貸 方				証書類		
		款	項	目	金額	款	項	目	金額			
1	車両予備品を貯蔵品から新たに設定し、または増備し、もしくは補充する場合	貯蔵品	5,000	予備品	車両予備品	貯蔵品から	1,000	甲種貯蔵品	車両予備品へ払	1,000	物品領収券	
		予備品	1,000	運転経費	新幹線運転区整備費	受材料	4,000	甲種貯蔵品	運転経費へ払	4,000		
2	車両予備品を減額して、乙種貯蔵品に編入する場合	予備品	1,000	乙種貯蔵品	本年度発生受	車両予備品から受	1,000	予備品	車両予備品	貯蔵品へ払	1,000	発生品受入票
		乙貯	1,000									
3	修繕不能になった車両予備品を貯蔵品に編入した場合	予備品	1,000	運転経費	新幹線運転区整備費	予備品材料	1,000	予備品	車両予備品	諸経費へ払	1,000	発生品受入票
		丙貯	400	丙種貯蔵品	副生品受	新幹線運転	400	運転収入	車両予備品	諸経費へ払	400	
4	車両予備品を保転した場合	予備品	1,000	予備品	車両予備品	他箇所から受	1,000	予備品	車両予備品	他箇所へ払	1,000	保転票
5	車両予備品を亡失した場合	予備品	1,000	営業外経費	雑損失		1,000	予備品	車両予備品	営業外経費へ払	1,000	特殊受払票

が指定した資材を担当する助役」と、[区及び工場]とあるのは、[経理資材所]と読み替える。

11 仕 訳

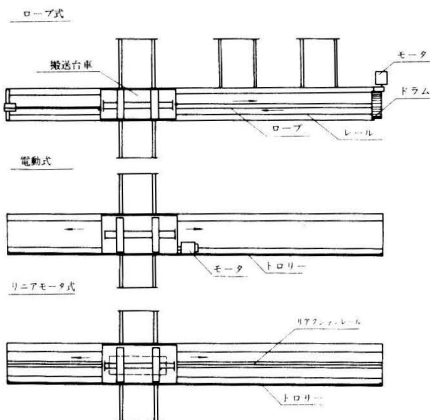
関係仕訳例は別表のとおりで、それぞれの仕訳発生の原因により次のように分けられる。

- (1) 車両予備品を貯蔵品から新たに設定し、または増備し、もしくは補充する場合
- (2) 車両予備品を減額して、乙種貯蔵品に編入する場合
- (3) 修繕不能になった車両予備品を貯蔵品に編入した場合
- (4) 車両予備品を保転した場合
- (5) 車両予備品を亡失した場合

以上、車両予備品の概要について述べたが、この設定については、高速を誇る新幹線車両について、その運用効率の向上、検収作業の平準化等経営の合理化に資するとともに、大きな経済効果が期待されている。

(片山芳徳)

しゃりんいどうそうち 車輪移動装置 車両が修繕工場に入場すると、この車に使用されている車輪は、洗浄、探傷、検査、タイヤ取替え、輪軸プレス、タイヤ削正、軸削正など幾つかの工程によって検修される。そのため、車輪はなんらかの方法によって、工程間を搬送しなければならないが、車輪の移動装置



特性としてレール上をころがることは容易でありながら、方向転換や、横移動は困難である。したがって、すぐ横に位置した加工機械に移すにも、クレーン搬送を必要とするなど、この作業

は比較的多くの人手を必要とするところから、合理的な機械設備として開発されたものが車輪移動装置である。

車輪移動装置の方式には、ロープ式と自走式の2種類が代表的なものである。ロープ式は搬送台車の前後にロープを取り付け、それぞれの一端を巻き取りドラムに結ばれている。ドラムは回転用モータと逆転装置の直結したもので、この運転方向につれてロープが巻かれ、一方のロープはゆるめられて、搬送台車の前進後進が行なわれる。

自走式には、搬送台車に誘導モータを直結したものと、リアモータ駆動によるものがある。前者の機構は、普通の電動台車と変わらないが、後者は最近導入開発された駆動方法で起動力とブレーキ効果のよいところから応用されている。

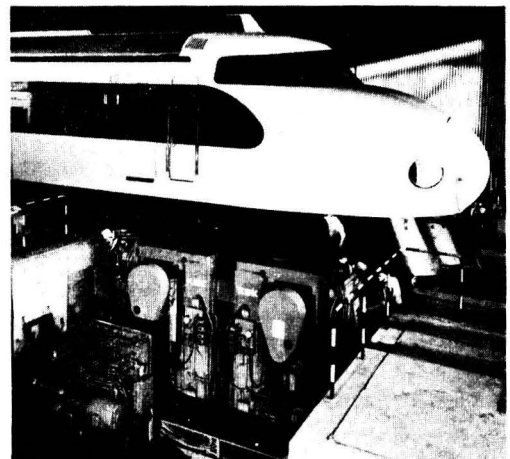
また自走式の制御は、全自動による位置決め停止から起動までを1サイクルとして運転されるものと、遠隔操作による半自動のものがある。

(白石岱治)

しゃりんけんさくばん 車輪研削盤 (英) car wheel grinding machine 車輪踏面の形状を、と(砥)石によって修正加工する機械で、同じ用途の機械には\*車輪転削盤がある。

車輪研削盤は、新幹線車両の車輪用の機械として、1964年、大阪運転所に設置されたのが第1号機で、在姿形であるので、在姿車輪研削盤と呼ばれる。

車両の運転速度が向上するに従い、車輪は保安上ますます重



車輪研削盤